

## 岩田 敏江

瑞穂町社会教育施設耕心館ボランティア 代表

東京で働く、自分らしく。



### 施設運営のボランティア活動を通じ、町の活性化に貢献

#### 取組内容

- 開館当初、知名度が低かった耕心館の集客のため、ボランティアとして敷地内で山野草を植え育てて管理。この活動をきっかけに、外来植物対策にも取り組む
- 耕心館で毎年、つるし飾りを製作・展示。さらに、耕心館の枠を超えてのつるし飾り講座の開催や、アメリカの姉妹都市でのキルト展への出展など、つるし飾りや町の魅力を内外に発信することで、国際交流の一翼を担う
- ボランティア仲間とともに、耕心館庭園や隣接する郷土資料館の庭の手入れを通年で行い、いつでも来場者をおもてなしできる体制を継続する瑞穂のスーパーお母さん



ボランティアスタッフ



山野草の管理の様子



つるし飾り展

#### 背景・経緯

- 瑞穂町が、江戸時代の豪農の屋敷を社会教育施設「耕心館」として整備した際、ボランティアとして活動を開始
- 観光の目玉になるものがなかった瑞穂町を「何とかしたい!!」という情熱で、通年の山野草や冬のつるし飾りを通じて、全国からお客様が集まる拠点に成長させる
- 約17年間、ボランティアを継続し、現在は15人のボランティアの代表

#### 効果

- 耕心館の来客数が大幅に増加。つるし飾り展は、1万人近くの集客を誇る町の代表的イベントに成長
- 新たな観光拠点を育てることで、町の活性化に貢献
- ボランティア活動を通じて、地域の交流の輪が広がる
- 活動を通じて、歴史・自然・観光・国際化・協働など異なる分野の連携につながった